

競技実施要項

1. 競技規定

現行の FIBA3×3 競技規則に則る。ただし、一部は今大会の規定に従って実施とする。

2. 競技方法

- (1) 男女ともにグループ別に予選リーグ戦を実施、その後、決勝トーナメント戦で実施する。
- (2)
 - ① 競技時間は 8 分とし、時間は流しとする。
 - ② ゲームの開始は、コイントスにより攻撃側チームまたは守備側チームとなるかを選択する。
 - ③ ショット・クロックは 12 秒以内。自チームのプレイヤーがコート内でボールをコントロールしたチームは、12 秒以内にショットをしなければならない。
 - ④ 得点
 - (1) ツー・ポイント・ラインの内側からのショットによりゴールは 1 点とする。
 - (2) ツー・ポイント・ラインの外側からのショットによりゴールは 2 点とする。
 - ⑤ チームファウル制限は 6 個までとする。ただし、7 個目以上の場合、相手チームへ 2 本のフリースローを与える。10 個目以上の場合相手チームへ 2 本のフリースローを与え、ポゼッション（攻撃権）をもう一度得ることができる。
 - ⑥ ゲームの勝敗は、競技時間が終了した時点で得点の多いチームを勝ちとする。ただし、どちらかのチームが 21 点以上得点した時は、その時点で終了し、そのチームを勝ちとする。
 - ⑦ 選手交代する場合は、ボールがデッド（試合が止まった時）でチェックボールまたはフリースローが行われる前に選手交代をすることができる。交代する選手は、コートから退く選手がコートから出る際に “タッチ” 等の身体接触を交わしてからゲームに入ることができる。審判やテーブル・オフィシャルに選手交代を伝える必要はない。
 - ⑧ タイムアウトは各チームに 1 回ずつタイムアウトが認められる。タイムアウトの時間は 30 秒間とする。タイムアウトはボールがデッド（試合が止まった時）でチェックボールまたはフリースローが行われる前にプレイヤーまたは交代要員から審判への請求によって認められる。
※フィールドゴール／フリースローが成功した直後、試合が止まっていない時に、選手交代をすることはできない。
 - ⑨ 予選順位は、ポイントによって決定する（勝ち 2 点、引き分け 1 点、負け 0 点）。
※勝ち点と同じだった場合は、全ての試合の得失点差で順位を決定する。得失点差が同じ場合は、総得点が多い方を上位とする。
 - ⑩ 決勝トーナメント戦の試合にて両チームの得点と同じだった場合は、延長を行う。競技時間をはからず、先に 2 点を得点したチームの勝ちとする。
- (3) 3 位決定戦
 - ① 競技時間は 10 分とし、時間は止める。
 - ② **2. 競技方法** (2) ②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧と同様とする。
- (4) 決勝戦
 - ① 競技時間は 10 分とし、時間は止める。
 - ② **2. 競技方法** (2) ②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧と同様とする。

3. 試合球

- (1) 試合球はJDBA唯一公式球であるモルテンの3x3公式試合球（円周 6 号球・重量 7 号球）を使用する。
- (2) 試合球は主催側で用意をする。

4. 審判、テーブル・オフィシャルズ（TO）、フラッグマン

- (1) 審判は、主審 1 名、副審 1 名とする。（協会が用意した審判が対応。）
- (2) TOは、協会側が用意した 2 名とチームからの 2 名の 4 名とする。
※TOの割り当ては、タイムスケジュールに表示しているチームの通りとする。
- (3) 情報保障の一環より、フラッグマン 2 名を配置し、審判の笛および 1 2 秒シュートクロックのブザーが鳴った場合、旗で知らせる。

5. 試合開始時刻について

- (1) 原則として組み合わせ表の時刻通りに開始する。
- (2) 時間により試合開始が異なる場合があるので、十分に確認を行い、前のゲーム終了 3 分前には当該コートに待機する。

6. 表彰

優勝、準優勝、3 位のチームに表彰をする。

7. 没収について

ゲーム開始予定時刻を過ぎてもプレイをする用意の整ったプレイヤーが 3 名揃わなかったチームはゲームを没収とする。

8. その他

- (1) チームの服装は、ユニフォーム、リバーシブル可とする。色は色を統一または同色系ので番号付きのものとする。なお、ビブスでの出場可とし、パンツは自由とする。
- (2) タトゥーがある場合はテーピング、サポーター等で見えないようにする。
- (3) 選手は競技中に相手を傷つける恐れのある次のものを着用禁止とする。
（指輪・ピアス・ヘアピンなど）
- (4) 試合中は補聴器の着用を認めない。補聴器はベンチに入る際に外すこと。
- (5) 暴力行為及び審判に対する暴言等、マナー、モラルを遵守できない場合、大会本部で協議の上、処置する。

9. 新型コロナウイルス感染防止対策

- (1) 競技中以外はマスクを着用してソーシャルディスタンスに努めること。
- (2) ① 新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合はその者の来場と試合への出場を不可とする。
加えて当該チームの体調不良者との濃厚接触者を確認し、異常なしの場合、体調不良者の代替選手を選手変更届より可能とする。
- ② 出場辞退チームが出た場合、不戦勝とする